

日本地方自治研究学会

第 39 回全国大会プログラム

統一テーマ

新型コロナウイルスパンデミックと自治体の改革

2022 年 10 月 1 日（土）・2 日（日）

後 援 日本税理士会連合会

会 場 同志社大学寒梅館（室町キャンパス）

〒602-0023 京都府京都市上京区上立売下ル御所八幡町 103



ごあいさつ

2022年10月1日(土曜日)・2日(日曜日)に、日本地方自治研究学会第39回全国大会を同志社大学で開催する運びとなりました。みなさまのご来学を心より歓迎申し上げます。

本大会では、地方自治や社会の将来をよみとく手がかりとなるような研究報告に加え、大きく次の2つの特徴があります。

一つ目の特徴は、新型コロナウイルスパンデミックへの対応の総括でございます。政策現場でのコロナ対応の実践的取り組みと改革についてシンポジウムを土日両日で開催します。10月1日(土曜日)は、新型コロナウイルスパンデミックへの対応と課題について、京田辺市長の基調講演の後、最先端で感染対策に取り組まれた京都府と京都市のリーダーの方々に、その実情をご議論いただきます。

10月2日(日曜日)は、パンデミックにともなう自治体の改革を象徴するデジタル対応について議論いただきます。住民や企業に向けたサービスを直接提供する自治体のDXやデジタル化は、国に先行する主要な政策領域です。シンポジウムでは、電子化推進度(日経グローバル、2020年)1位の豊中市、大阪モデルの最先端スマートシティを展開する大阪府、スーパーシティの実現をめざすデジタル化最先端の大阪市のリーダーの方々をお招きし、デジタル化の実情をご教示いただきます。

本大会の二つ目の特徴は、政策実務セッションにおける実務に基づく実践的知見の発信にあります。長年、自治体における政策実務の最先端で現実の課題に対応し、新しい取り組みを進めてこられた実践的研究者、あるいは部門トップとして数々の難題を解決してこられた実践的研究者の問題関心をもとに、実務に通じた本質的知見を広く学ぶ好機になります。

本大会は、対面で実施いたしますが、会場内では消毒液やマスクの徹底のもとで進めたいと思いますので、会場内でのご協力をお願いいたします。地方自治研究の創造的交流を図るべく、ぜひ皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

第39回全国大会実行委員長 野田 遊(同志社大学)

公認会計士、税理士のみなさまへ

本大会では、4～7 頁に示す全プログラム(研究部会セッション、政策実務セッション、自由論題セッション、およびシンポジウム)が「日本税理士会連合会が後援する研修」に、また、一部のプログラムが「日本公認会計士協会 CPE 認定研修」に認定されています。

研修認定のために、全国大会に参加される場合は、次ページ1の参加登録フォームより必要な情報をご入力ください(学会非会員の方は、次ページ2の参加費要)。

各セッションの参加に際しましては、途中参加・途中退出の場合、当該セッションの単位は認められないことになっております。積極的なご参加をお待ちしております。

日本公認会計士協会、日本税理士会連合会の認定研修として認定されたセッション・シンポジウムと単位数は、次のとおりです。

日本公認会計士協会 CPE 認定研修	日本税理士会連合会が後援する研修
10月1日(土) ・自由論題セッション3の第1報告・第2報告 →研修コード 2109, 単位数 1 10月2日(日) ・政策実務セッション1の第1報告・第2報告 →研修コード 5401, 単位数 1	10月1日(土) ・研究部会セッション (2時間研修) ・自由論題セッション1・2・3 (2時間研修) ・シンポジウム1 (3時間研修) 10月2日(日) ・政策実務セッション1,2 (2時間研修) ・自由論題セッション4 (2時間研修) ・自由論題セッション5 (1.5時間研修) ・シンポジウム2 (2.5時間研修)

大会参加方法

1. 参加登録フォームと名刺持参

みなさま、次の参加登録フォームにて必要事項の入力をお願いします。

＜参加登録フォーム＞

<https://forms.office.com/r/3pA09m8Un9>



また、ご参加の際には必ず**名刺をご持参ください**。会場でお渡ししますネックストラップの名札ケースに名刺を入れてご参加いただきます。

2. 費 用

本大会では、会員は無料、非会員は下記の通りとさせていただきました。また、懇親会費は5,000円ですが、人数把握と事務手続の効率化のため、できる限り事前申し込みをお願いしますと幸いです。懇親会費、ならびに非会員の方のお申込みについて、準備の都合上、**8月25日までに**下記の口座への振込をお願いします。口座名義は、実行委員長名（野田遊）としております。これは郵便局での人格なき社団の口座開設の運用が2021年8月より厳しくなったため常任理事会承認のもとそのように対応いたしました。**なお、会開催にもかかわらず当日参加されなかった場合、懇親会費及び大会参加費は払い戻しいたしませんので、その点ご了承ください。**

郵便局の場合 → 郵便振替口座（00900-7-198262）（→同封の払込取扱票をご利用ください）
銀行等の郵便局以外の場合は次のとおり。

店名（店番）	預金種目	口座番号
〇九九（ゼロキウキウ）店（099）	当座	0198262

振込期日：2022年8月25日（木）

事前申し込み	大会参加費	個人会員	無 料
		学生会員	無 料
		非会員	1,000 円
	懇親会費		5,000 円
当日申し込み	大会参加費	個人会員	無 料
		学生会員	無 料
		非会員	2,000 円
	懇親会費		5,000 円

※お弁当の販売や宿泊施設の斡旋はしていませんので、予め御了承ください。お食事できる場所として、芙蓉園、イーサン、やよい軒、Indigo、Beer&Pasta スケルツォ、CoCo 壱番屋、ラーメン屋数店舗、なか卯、松乃家（日定休）、柳園（日定休）などがあります。その他、スーパーフレスコ、コンビニ（ローソン、ファミリーマート、セブンイレブン）があります。

3. 受付開始時間とWiFi

- ・同志社大学寒梅館（最終ページに地図を掲載）1F に受付を設置しています。
- ・当日の受付開始時間は、8:45 からとなっております。
- ・会場では、WiFi の環境を整えております。WiFi のパスワードは当日受付でお知らせします。

4. 登壇者のご準備

- ・本大会は、対面で実施いたします。報告者、座長、討論者の方々は、各セッションの15分前までに会場にお入りいただき、お打ち合わせをお願いします。
- ・報告者はUSBにパワーポイント等の報告ファイルを保存のうえご持参いただき、会場に備え付きのノートPCのデスクトップ上に開始時間までに保存してください。デスクトップ上に保存いただくのは、セッション中、ファイルをすぐに開けるようにするためです。
- ・報告者が配布資料を持参される場合は、適宜会場内で配布をお願いします。

5. 予稿集

- ・予稿集は、日本地方自治研究学会のホームページ(<https://www.skattsei.co.jp/tihoujichi/>)に9月初旬に掲載します。予稿集を開くパスワードは [] です。当該パスワードは、参加者ご自身のみで利用し、決して他者に教えないようにお願いいたします。
- ・実行委員会の方で配布資料や予稿集の印刷は行いませんので、予めご了承くださいますようお願いいたします。

6. 全体スケジュール

10月1日(土曜日) ※KMB203 教室は授業が行われているため廊下では静粛にお願いします。

	寒梅館地下 ハーディーホール	寒梅館地下 会議室地 A	寒梅館2F KMB208	寒梅館2F KMB201
9:30～11:25	研究部会セッション	自由論題セッション1	自由論題セッション2	自由論題セッション3
11:30～13:00	理事会(寒梅館地下 会議室地 A)			
13:00～14:00	休 憩			
14:00～16:50	シンポジウム1			
17:00～17:50	会員総会			
18:00～20:00	懇親会(寒梅館1F レストラン Hamac de Paradis 立食)			

10月2日(日曜日)

	寒梅館 ハーディーホール	寒梅館地下 会議室地 A	寒梅館2F KMB208	寒梅館2F KMB201
9:30～11:25	政策実務セッション1	政策実務セッション2	自由論題セッション4	自由論題セッション5 (10:10～11:25)
11:30～13:00	休 憩			
13:00～15:30	シンポジウム2			

7. その他

- ・本大会は、対面実施(現地開催)で進めておりますが、開催直前に急速な感染拡大が予想される場合、オンライン開催を検討する場合があります。

第1日目 10月1日(土)

研究部会セッション (場所:寒梅館地下 ハーディーホール)

【最終報告】子どもの未来をめぐる基礎調査 SDGs 2030 の達成を目指して

座長:坂野喜隆(流通経済大学) 報告 20 分、討論 10 分、質疑 5 分

第1報告 9:30～10:05 自治体における子ども参加の実効性を確保する取組の考察

報告者 久谷明子(大阪市立大学)

討論者 水野和佳奈(岐阜協立大学)

第2報告 10:10～10:45 子どもの発達保障に関する基礎研究—コロナ禍における保育現場と
役場担当課との連携

報告者 手塚崇子(川村学園女子大学)

討論者 能島裕介(尼崎市役所)

第3報告 10:50～11:25 外国にルーツのある子どもたちの学びの現状～ヒアリングからの考察～

報告者 林加代子(愛知学泉大学)

討論者 若杉英治(明星大学)

自由論題セッション1 (場所:寒梅館地下 会議室地下A)

座長:飯田洋市(公立諏訪東京理科大学) 報告 20 分、討論 10 分、質疑 5 分

第1報告 9:30～10:05 地方財政論における質的調査の方法論的検討

報告者 山口陵太郎(大月短期大学)・倉地真太郎(明治大学)

討論者 田代昌孝(桃山学院大学)

第2報告 10:10～10:45 政策立案におけるバックキャスティング手法の射程と限界

報告者 丸山武志(日本総合研究所)

討論者 仲地健(沖縄国際大学)

第3報告 10:50～11:25 地方自治体における公共施設の管理・運営に関する研究:

東広島市立美術館における3群構成の質問紙を用いた利用者満足度調査

報告者 岩切百音(広島大学大学院生)

討論者 桑原美香(福井県立大学)

自由論題セッション2 (場所:寒梅館2階 KMB208)

座長:鈴木隆志(日本大学) 報告 20 分、討論 10 分、質疑 5 分

第1報告 9:30～10:05 簿冊による評価活動の実践例からみた政策マネジメントと政策評価の違い

報告者 藤本伸一(京田辺市役所)

討論者 米岡秀真(奈良県立大学)

第2報告 10:10～10:45 自治体DX推進における情報システム標準化の実態

報告者 小林塁(同志社大学)

討論者 佐藤亨(日本生産性本部)

第3報告 10:50～11:25 コロナ感染症対策における国・地方自治体の権限と財源について

報告者 江口幸雄(愛知県庁)・清田佳治(愛知県庁)・鈴木禎明(愛知県庁)

討論者 大島誠(横浜市立大学)

自由論題セッション3（場所:寒梅館2階 KMB201）

座長:小西秀樹(関西大学)

報告 20 分、討論 10 分、質疑 5 分

第1報告 9:30～10:05 地方公会計財務書類の作成プロセスにかかる実務的検討

—予算科目の整理やダブルバジェットの導入などの改善方策について—

報告者 大川裕介(大阪経済大学)

討論者 佐藤綾子(富山国際大学)

第2報告 10:10～10:45 「新制度論」的アプローチによる公共施設等老朽化対策の実施過程分析

報告者 稲生信男(早稲田大学)

討論者 永井真也(室蘭工業大学)

第3報告 10:50～11:25 都道府県—市町村間の連携に関する研究

報告者 横田早紀(同志社大学大学院生)

討論者 菅原敏夫(前地方自治総合研究所)

11:30～13:00 理事会（場所:寒梅館地下 会議室地 A）

13:00～14:00 休憩

シンポジウム1

新型コロナウイルスパンデミックと自治体の改革（場所:寒梅館地下 ハーディーホール）

司会 野田 遊(同志社大学)

14:00～14:05

開会挨拶 橋本 行史（日本地方自治研究学会会長・関西大学教授）

14:05～16:50 シンポジウム 新型コロナウイルスパンデミックと自治体の改革

基調講演 上村 崇 氏（京田辺市長） 14 時 05 分～15 時 00 分

新型コロナウイルスパンデミックへの対応と課題:国・地方の関係と自治体の今後

15 時 00 分～16 時 50 分

パネリスト 上村 崇 氏（京田辺市長）

重見 博子 氏（京都府健康福祉部理事 兼 丹後保健所長）

京都府における COVID-19 パンデミックへの対応と改革や課題

志摩 裕丈 氏（京都市保健福祉局医療衛生推進室 室長）

京都市における COVID-19 パンデミックへの対応と改革や課題

モデレーター

田中 優(日本福祉大学)

17:00～17:50 会員総会

18:00～20:00 懇親会

第2日目 10月2日(日)

政策実務セッション1 (場所:寒梅館地下 ハーディーホール)

座長:宇野二朗(北海道大学) 報告 20 分、討論 10 分、質疑 5 分

第1報告 9:30～10:05 産業政策と中小企業対策

報告者 上田誠(京都市立芸術大学(元京都市役所))

討論者 橋本行史(関西大学)

第2報告 10:10～10:45 コロナ禍での地方創生臨時交付金の使途に関する課題とその教訓

報告者 涌井康宣(瀬戸市役所)

討論者 星野泉(明治大学)

第3報告 10:50～11:25 自治体での組織文化に合わせたイノベーション施策の実現手法

報告者 多名部重則(神戸市役所)

討論者 三浦留美(城西大学)

政策実務セッション2 (場所:寒梅館地下 会議室地下 A)

座長:大森明(横浜国立大学) 報告 20 分、討論 10 分、質疑 5 分

第1報告 9:30～10:05 子ども政策の現状と課題について

報告者 廣仲洋介(兵庫県庁)

討論者 小川長(尾道市立大学)

第2報告 10:10～10:45 公共施設最適化に向けた地方公会計活用に関する一考察

—大阪府吹田市の取組みを参考に—

報告者 保木本薫(吹田市役所)

討論者 掛谷純子(京都女子大学)

第3報告 10:50～11:25 埼玉県庁の文書管理

報告者 黒澤岳博(埼玉県庁)

討論者 橋本聖美(九州国際大学)

自由論題セッション4 (場所:寒梅館2階 KMB208)

座長:鎌苅宏司(大阪商業大学) 報告 20 分、討論 10 分、質疑 5 分

第1報告 9:30～10:05 持続可能な地域づくりに向けたパートナーシップに関する研究:

地方都市における企業の SDGs への取組を通して

報告者 畑正夫(兵庫県立大学)

討論者 田中英式(愛知大学)

第2報告 10:10～10:45 関西地区における公園活用における問題点-史跡公園、運動公園を中心にして-

報告者 山中鹿次(NPO 法人近畿地域活性ネットワーク)

討論者 妹尾克敏(松山大学)

第3報告 10:50～11:25 コミュニティにおけるユースワークの課題と可能性

報告者 田鹿晴香(京都市ユースサービス協会)

討論者 黒木誉之(長崎県立大学)

自由論題セッション5（場所:寒梅館2階 KMB201）

座長:千葉貴律(明治大学)

報告 20 分、討論 10 分、質疑 5 分

第1報告 10:10～10:45 地方自治体が主導するSDGsクラスター形成とその成果

報告者 藍木秀(関西大学大学院生)・伊佐田文彦(関西大学)

討論者 藤原直樹(追手門学院大学)

第2報告 10:50～11:25 政策実施手法における決定プロセスの検討-政策実施論の観点から

報告者 有本新(同志社大学大学院生)

討論者 大藪俊志(佛教大学)

11:30～13:00 休憩

シンポジウム2

新型コロナウイルスパンデミックと自治体のデジタル化（場所:寒梅館地下 ハーディーホール）

司会 壬生 裕子(京都地方自治総合研究所)

13:00～13:05

開会挨拶 橋本 行史（日本地方自治研究学会会長・関西大学教授）

13:05～15:30 シンポジウム 新型コロナウイルスパンデミックと自治体のデジタル化

パネリスト

藪床 和弘 氏（豊中市総務部部長）

豊中市における新型コロナウイルスパンデミックと自治体のデジタル化

大田 幸子 氏（大阪市デジタル統括室企画担当部長(教育委員会事務局教育 ICT 担当部長兼務)）

大阪市におけるデジタル化の取組と新型コロナウイルスパンデミックへの対応

狩野 俊明 氏（大阪府スマートシティ戦略部戦略推進室 戦略企画課課長）

大阪府における新型コロナウイルスパンデミックへの対応と行政 DX の取組み

モデレーター

野田 遊（同志社大学）

日本地方自治研究学会第 39 回全国大会実行委員会

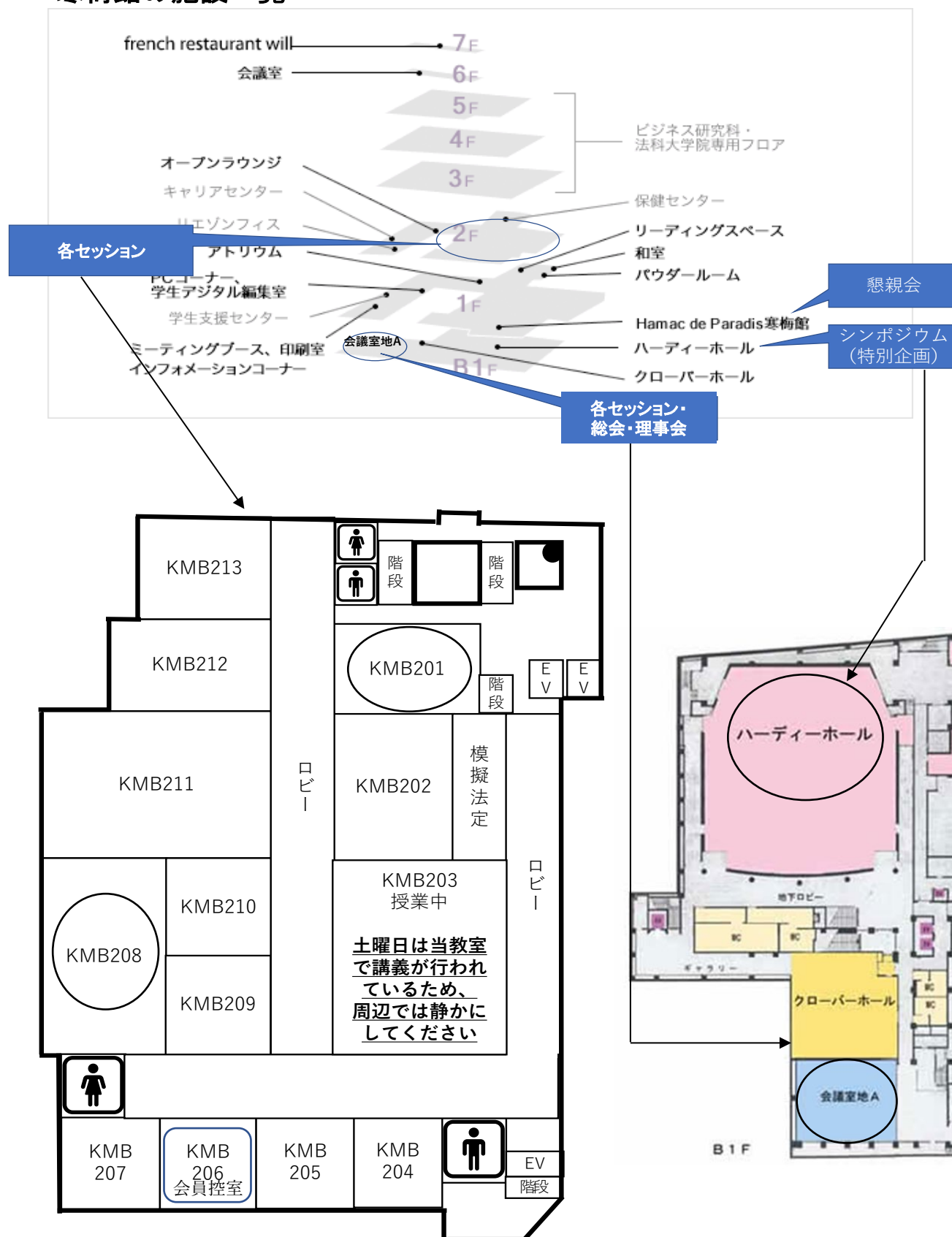
実行委員会委員

田中 優 壬生 裕子 小林 塁 藤本 伸一 横田 早紀 丸山 武志 石津 雅恵 野田 遊

〒602-0047 京都市上京区新町通今出川上ル 同志社大学政策学部 野田研究室内

e-mail: ynoda@mail.doshisha.ac.jp

寒梅館の施設一覧



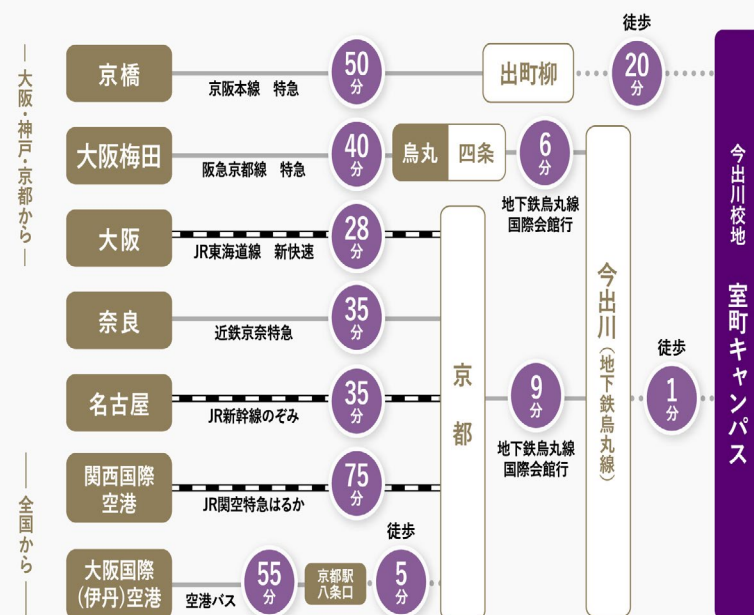
会場までの アクセス



会場までの行き方

- ①京都市営地下鉄「今出川駅」下車
- ②北側無人改札口を出て左、
地上まで上がる
- ③北に向けて徒歩すぐ

※地上までのエレベーターは南改札口を出た
先にあります。



京都市営地下鉄 烏丸線 今出川駅 2番出口 から、烏丸通りを北進してすぐです。